

岐阜県立岐南工業高等学校で防災の伝え手育成の授業

～ 高校生が小学校で防災の先生に ～

令和7年10月8日（水）、岐阜県立岐南工業高等学校で土木研究会1年生13名に、防災の授業を行いました。学校と連携して「防災インフルエンサー」を育成する取組で、岐阜県立岐阜総合学園に続いて2例目となります。

水害から大切な命を守るため、これから地域の守り手となる土木系の科目を学ぶ生徒の、「守られる人から守る人へ」の意識改革を図り、地域の子どもたちへの防災の伝え手になることを目的に、伝え手育成のための授業を行うものです。

授業は3回を予定し、10月25日（土）岐阜市立本荘小学校の児童等希望者を対象に高校生が先生となり、実験を通じて防災について教える事を目標にしています。本日はその第1回目でした。

今後も、「災害から大切な命を守る」ための防災教育支援に取り組んで参ります。

